

AAALA ニュース 130号

内容紹介

1 . Oxfam 「スティグリッツが不平等の現状を評価する」

Oxfam のサイトに掲載されたスティグリッツへのインタビュー記事を紹介したものです。戦争による利益供与、格差の拡大を企む政治家、そしてさらに希望の源について語っています。オックスファムのスタッフとの対話。新入生歓迎にふさわしい記事です

2 . Democracy Now 「スティグリッツ_世界経済危機を語る」

スティグリッツは冒頭から FRB の利上げ政策を厳しく非難します。「問題は過剰な総需要ではなく、供給サイドの中断による“需要の転換”だ」とし、「FRB は金融政策で解決しようとしている。それは経済を減速させ、失業率を高め、状況をさらに悪化させている」と一刀両断します。

3 . Global Times 「イランとサウジが復交_中国が仲介」

今年はイラク戦争開始 20 年に当たります。この 20 年中東は内乱に苦しめられてきました。その最大の矛盾の根源となってきたのがイランとイラクの対立でした。それが解決の方向に向かうことの意義は計り知れないものがあります。もう一つはそれが中国の仲介で実現したということで、中東は現代史上初めて、米国の手を介さずに紛争の自主解決に成功したことになります。

4 . Geopolitics 「非西洋の中堅国家が重要性を増す」

非西洋の中堅国家とはインド、UAE、インドネシアの三国を指す。これらの国は米中の中でバランスを取っているように見えるが、実際には、たんなる balanサーではなく、グローバルな舞台で重要なプレーヤーになることを目指している。

5 . GrayZone 「イランに関するフェイクニュース集」

さまざまなネットメディアの中でも、最も厳しくグローバル・メディアと対決するグレイゾーン誌の、イランバッシングに対するカウンターキャンペーン。やや強引なものもあるが、立ち向かう姿勢が小気味よい。

6 . 新藤 「ハバナ症候群_その 2」

AAALA 研究者新藤さんが幻の「ハバナ症候群」にメスを入れる。

7 . 短信欄

* 横浜国立大学の山崎先生が、ブラジル新大統領ルーラの小気味良い言動を紹介する

* 忘れられがちな最近のイエメンの動向を紹介

* 大村哲さんの温暖化問題に関する論文紹介

* シリーズ：海外進歩系メディアの紹介 今回は Globetrotter と Democracy Now、Gray Zone